

たくさん学び、感動をくれた日本母親大会

松戸市母親大会実行委員会 棚井 冽子

今年の日本母親大会は 59 回を迎え、全体会は 8 月 24 日幕張メッセで分科会は 25 日東京の 7 会場で開かれました。千葉県からはのべ 900 名が参加し全体では約 13000 名の参加でたくさんの事を学び、運動を交流しました。

全体会では伊藤真さんの憲法の話。憲法は他の法律とは違い国・権力が暴走しないように定めたものだという立憲主義についてわかりやすくお話していただき、憲法の理想を実現するためには長い運動が必要なことを、リンカーンが奴隷を解放してから黒人が差別されることがなくなる(少なくなったというべき)のに 100 年かかっていることを例に示してくれました。

前進座による朗読劇は東京大空襲で亡くなった電話交換手の話。多くの戦災犠牲者が今も裁判で闘っていることが運動交流の中でも示されました。中でも今なお大変な心配を抱えながら頑張っている福島 of 皆さん・大間原発建設反対を訴える向かいの北海道の皆さん・県庁所在地に原発がある松江市の皆さんなど原発問題での各地の取り組みには励まされました。官邸前集会を続けている若い母親に合わせ「原発反対・再稼働反対」のコールが会場いっぱい響きわたりました。不当解雇との闘い・勝利の報告もありました。最後に憲法 9 条を守ろうなど日本国憲法を守ろうの願いを書いた各県・団体の代表が舞台に並んでしめくくりました。

25 日は「メディアと向き合う力を育てる—ケータイ・スマホ・ゲームなど—」の分科会に参加し子どもを取りまくネットの世界について学びました。生まれたときからテレビどころかゲーム・携帯・スマホがある状況の中で子どもたちが実体験をする機会が減っています。その上、便利な道具であるだけでなくいじめの道具になったり、金儲けの餌食になる危険もあるのです。大人の知らない世界へ簡単に入っていける状況の今、インターネットメディアの特徴や影響を子どもや保護者に伝え、子どもたちが心身ともに健やかに育つための環境（公園・自然体験・居場所など）を作っていきたいと申し合わせました。

今度は 9 月 22 日(日)第 59 回千葉県母親大会 in 松戸の成功を！

憲法・原発・日本の未来について心配している皆さん！大集合を！